

令和5年度シラバス

視能訓練士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
基礎視能矯正学 I		講義・演習	山本 雅美	
時間数 (単位数)		授業回数	年次	開講時期
30 時間 (2 単位)		15 回	1 年次	後期
授業の目的・概要				
基礎視能矯正学 I では眼位と両眼視、外眼筋の作用、眼球運動について学びます。ここでの知識の習得は後の視能矯正学等の発展に不可欠です。まずは正常を理解し、視能障害を分析的に考える力を養います。				
授業の到達目標				
視能矯正学に発展するために眼位と両眼視、眼球運動の基本的知識を習得する。 ①正常両眼視機能の成立を理解する。 ②複視の起こり方を眼位別にイメージができる。 ③網膜対応を状態別にイメージができる。④外眼筋の作用、眼球運動のメカニズムを理解する。				
授業計画				
回	内容			
1	ガイダンス 眼位			
2	両眼視① 確認テスト①			
3	両眼視②			
4	両眼視③ 両眼視の発達・両眼視の発達機序・両眼視の成立条件			
5	両眼視機能の異常 複視①			
6	両眼視機能の異常 複視② 斜視による両眼視機能異常 確認テスト②			
7	両眼視機能の異常 網膜対応異常			
8	外眼筋の単独佐用① 確認テスト③			
9	外眼筋の単独佐用② 確認テスト④			
10	単眼運動とその法則・両眼共同運動・共同筋と拮抗筋			
11	外眼筋の神経支配・位置覚と自己受容器・神経筋の静止電位と活動電位・固視微動			
12	両眼視まとめ①			
13	両眼視まとめ②			
14	外眼筋まとめ①			
15	外眼筋まとめ②			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	100%			
レポート・課題				
小テスト		理解の確認のため随時行う。		
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名	出版社名		
視能学 第3版	小林義治 他編	文光堂		
視能矯正学 改訂第3版	丸尾敏夫 編	金原出版		
視能学エキスパート 視能訓練学 第2版	若山暁美 他編	医学書院		
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名	出版社名		
なし				
自由記載				
備考				